

平成28年 8月19日

報 告 書

江田島市議会議長 山根 啓志 様

平成28年度議会報告会 2班

江田島市議会議員 胡子 雅信 (班長)

江田島市議会議員 吉野 伸康 (副班長)

江田島市議会議員 新家 勇二

江田島市議会議員 浜西 金満

江田島市議会議員 浜先 秀二

江田島市議会議員 花野 伸二

江田島市議会議員 中下 修司

江田島市議会議員 上本 一男

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日程、開催地及び参加人数

	開催日時	会場	参加人数
江田島地区	7月13日(水) 13:30~15:30	江田島公民館 4階 会議室	16人 男12人 女 4人
沖美地区	7月15日(金) 13:30~15:30	沖美ふれあいセンター 2階 研修室	11人 男 8人 女 3人

2 役割(受付、司会、あいさつ、報告者、答弁、記録)

区 分	江田島地区	沖美地区
司 会	吉野 伸康	新家 勇二
報 告 者	議会：新家 勇二 総務：胡子 雅信 文教：浜先 秀二 産建：浜西 金満	議会：胡子 雅信 総務：中下 修司 文教：上本 一男 産建：吉野 伸康
答 弁	全 員	全 員
受付(2名)	花野 伸二 上本 一男	浜西 金満 浜先 秀二
記 録	花野 伸二 上本 一男	浜西 金満 浜先 秀二
タイムキーパー	事 務 局	

### 3 報告事項

#### (1) 6月定例会の概要質疑

【江田島地区】 質疑なし

【沖美地区】 質疑なし

#### (2) 各常任委員会報告質疑

##### ①総務常任委員会

##### 【江田島地区】

- Q 1 第3次行財政改革大綱でアウトソーシング・民間委託を検討しているとあるが、職員の定数問題、人口減少と合わせて職員の人数が増えるような話が出ていたと思いますが、市がやっている仕事が減るのに増えるのが分かりません。
- A 1 江田島市が内部資料として第2次江田島市定員適正化計画を策定しています。市からは総務省のモデル案に基づく説明をされたが、実際どうなのか、今年度の継続調査となっています。
- Q 2 江田島市の職員が広島市、呉市などから通っている人が多いと聞く。この人たちの給料・交通費も市の予算から出る。これを抑制する方針はないか。つまり、江田島市に住んでもらうという方策は考えていないか。
- A 2 合併当時から市の執行部へ質問してきました。このたび3回目になる議会報告会でも毎回同じ質問があります。議会も執行部に質問しているが良い返事はない。憲法22条（居住移転の自由）により、条例とか規則に定めると裁判では江田島市は負けると市からの回答です。一方で福山市では服務規程で職員は市内に居住すると定めており、ただし書として、市長の特別な許可があればこの限りではないということで憲法に反しない。市からは、「福山市に聞いてみたが、形骸化しているから江田島市として規定を設けない」という回答。一方でふるさと納税をしている職員もいます。平成27年度は職員377名中56名が島外通勤です。
- Q 3 通勤手当等を抑制する手段はないか。
- A 3 国の基準に沿っているので問題はありません。
- Q 4 資料に「スキルアップ」と書いてある。確かにスキルアップは今かなり使われているが高齢者には分からない。「能力向上」と書くとか、かっこで付けるとか、これからの市の文章には必要ではないか。
- A 4 ご指摘ありがとうございます。議会だよりについては、議会広報特別委員会に伝えます。

- Q 5 議員報酬と定数の問題について、これまで委員会等で検討・議論したことがあるか。(前回選挙で立候補者の公約に定数・報酬を下げる等があったと聞いた。)
- A 5 現在の議会で定数についての議論はしておらず、このたびの御意見を議会に持ち帰って議会運営委員会等で議論します。議員報酬は平成25年12月に行われた特別職報酬等審議会の答申に基づき提案され、平成26年2月定例会で可決されました。(この3年間議論されていません。)

【沖美地区】 質疑なし

②文教厚生常任委員会

【江田島地区】

- Q 1 認定こども園の再編整備については各小学校区で一つと決まっており、江田島小学校区では宮ノ原、小用、江田島、飛渡瀬が一つになって「認定こども園えたじま」になると思いますが、実施・場所等がどうなっているのか。
- A 1 平成28年度から、場所は国有地(旧江田島小学校跡地)になると思うが、新しくできると聞いています。
- Q 2 旧江田島小学校跡地で確定ということか。
- A 2 今年度には用地買収、設計、来年度には建築と聞いており、32年度までには完成とする予定。

【沖美地区】 質疑なし

③産業建設常任委員会

【江田島地区】 質疑ない

【沖美地区】

- Q 1 鳥獣被害(特にイノシシ)は、今思い切った対策を講じないと。具体的な方法で、このような事をやってはどうかというような意見があれば。
- A 1 ずいぶん前から検討しているが、これといった対策は難しい。平成26年度で1,112頭、平成27年度が850頭を捕獲しています。捕獲後の処分が大変頭を悩ませる問題で産業部として一頭当たりの捕獲料金を上げる検討をしているが具体策は示されていない。

(3)意見交換会

- ① テーマ：地域のまちづくり
- ② その他(市政に対しての要望等)

【江田島地区】

- Q 1 江田島市の事情は下降線をたどるしかない。架橋計画は前に進むようにはならないのか。駅ができるわけでもない、学校も企業も誘致できないのでは、橋しか希望がない。橋ができれば市も危機管理の上でも良いと思う。江田島市の寿命は全国と比べても低い。これだけ高齢化が進んで老人が多いのに、長生きじゃない。橋が架かれれば大きい病院に行ける、広島市からの通勤時間が短くなれば定住してもらえるかもしれない。良い方向に進むとすれば橋しかない。僕らの年代からしたら今は希望もない感じ。議会だよりに借金について「これはあなたの子供や孫に背負わされる借金です」とあるが、僕達は借金した覚えがない。架橋の道が絶たれるならば、行く末は夕張市のようなものすごい借金を返していく方向にならないか。人口減少が分かっているのだから、人口がまだ減らないうちに、痛みを分かち合うのが良いのでは。
- A 1 大変難しい問題で、日本全体で人口が下がっている状況です。江田島市も第2次総合計画を作って皆様に配布しています。計画通りいくかどうかなかなか難しい。江田島市の財政状況は、貯金が約90億。そのうち単年度赤字を補てんする財政調整基金が47億円、借金を減らす目的の貯金（減債基金）が9億ある。借金は一般会計で平成27年度186億。その内、後年度、全額交付税措置される臨時財政対策債が70億円。この数字を見ると良いと思うかもしれませんが、江田島市もやらなくてはいけないことがたくさんあります。公共施設も、今、江田島支所が耐震工事しており、新たに沖美地区に市民センターを建設し、学校の耐震化もあり、億単位のお金がかかる。能美ロッジ建替えも検討しています。我々議会もしっかりチェックします。
- Q 2 議員がいない地域では、住民の政治に対する関心が薄くなります。まちづくり協議会など、議員のいない地域はどうすればよいか。議員定数は減らすのではなく、増やす方が政治に関心を持ってもらうにはいいのでは。
- A 2 議員数については賛否両論あります。議員が多い時は減らせとの意見があり、議員がいない地域は困っているとの意見で他の市町でも同じです。江田島市議会では18名の定数で出前講座もやっています。地域におらず、オブザーバー（顧問）的な議員を出してほしいということであれば議会で検討します。
- Q 3 他の市町では議会中継を見られる。江田島市議会では検討していると聞かす。
- A 3 現在、見積りを取っています。一番安く、どのように中継できるか（リアルタイム、録画方式など）検討しています。近いうちに実現できると思いますのでもうしばらくお待ち下さい。
- Q 4 天応から小用の海底送水管に何かあれば断水する。何年ぐらい大丈夫か。
- A 4 耐用年数は超えているが、調査した結果、異常はなくまだ数年は持つ。（すぐに敷設替えという状況でない。）大竹市からの二本体制が良いのではと提案している。執行部がどのように考えて早期に対応してくれるかです。参考までに

平成23年度に約1,000万円の経費で調査実施して5年経っている。平成33年度に5,400万円かけて工事の検討をすると聞いている。予算は約12億。

Q5 海底トンネルは1本だけか。

A5 2本あります。1本は倉橋へ、1本は高須へ。

Q6 人口が減るのに下水道事業はやりすぎ。合併浄化槽も含めて下水道整備再検討をしてはどうか。公共投資はある程度先を見通して財政計画を作っていないと大変なことになります。今一番心配なことは地方債（市債）が今後どれくらい膨らんで、人口が減って子ども達が将来住まないのではないかと思う。現在、至るところで公共施設を耐震化工事しているが経費はかなりかかる。インフラ整備（下水道、道路工事など）は費用の試算だけはして欲しい。委員会では行政側に資料提出を要求し、的確な質問をして欲しい。とにかく子どもの代には夕張市にはなりたくない。島外通勤している職員が多く、江田島市に市税を納めないで誠にけしからんが、他の市町村と比べると健康保険料、介護保険料、下水道料が高い。

A6 下水道について、少子高齢化及び将来予測される大幅な人口減少に対し、費用対効果の検証を行った結果、整備しない地域が発生します。代替案として合併浄化槽補助事業を活用して水洗化を図ります。平成32年度以降整備する地域は商業地域以外は平成30年にアンケート調査し、平成31年度に効率的な整備計画方針を決定します。それまで江南飛渡瀬地区の商業地域を優先的整備していく予定です。

#### 【沖美地区】

Q1 老人福祉問題は社協など福祉関係で対応されています。最近、報道では老々介護がものすごく増えている。しかし、老々介護は全部自分でやっています。地域で対応してもらったら助かりますが、できるわけがない。今後すべて施設でやるのは大変だから、だんだん家庭でせざるを得なくなり、対象家庭に助成はどうか。今後、江田島市も同じ状況が増えます。議会はどう考えているか聞かせください。

A1 非常に重要な問題ですが、老夫婦が頼れるとしたら行政しかないと思います。確かに地域住民が手助けすればいいが、まずは社協や地域包括センターに相談し、行政に手助けを頼むところからスタートするしかない。

Q2 行政にある程度力を貸してもらえないと、家庭でやるのは無理だということですね。実際にどうしていいかわからない人も多い。特に老々介護については本当に命にかかわる問題であり、行政当局、議会でもっとPRして地域住民が分かるように、ぜひ検討をお願いします。

A2 国も介護保険制度改正の議論をしています。団塊世代が75才、いわゆる後期

高齢者になるのが迫っています。2025年がピークで、地域包括ケアシステム制度を充実する動きがあり、今年度、江田島市は地域包括支援センターを大柿は直営、他の地域は社協が受ける。議会も御意見をもち帰って議論します。

- Q 3 沖美町には公園がなく、みなと公園（鹿川）に行くまで高学年にならないと自転車は校区外で行くことができません。低学年は近くで遊ぶ場所といっても公園はありますが健康器具だけ置いてある状態。旧沖小学校はブランコ、シーソー、ジャングルジム等があったが、危ないからと全部撤去されています。子ども達が安心して遊べる場所の確保はできないか。
- A 3 子育て支援、都市整備、公園管理に要望があったことを伝えます。  
(補足説明) 平成27年に公園等に関する市民アンケートを実施し、公園等の管理・活用計画の素案にレクリエーション機能の充実を図ることを重点的取組みとして早期に計画を取りまとめる。
- Q 4 議会モニター制度をつくって各地域で選抜してはどうか。(議会報告会を継続するには、このような深刻な人数ではどうか。) 広島湾の真ん中にある島(江田島・能美島)が広島市に全然考えてもらっていないと思う。議会は広島の方へ日参しなくてはいけないのでは。
- A 4 参加者が少ない点は議会へ持ち帰って反省する必要があります。事前に自治会、女性会、老人クラブ役員に案内状を出しているが、資料を事前配布して質問を考えて頂くことも検討。江田島市がしっかりと力をつけるのがまずは一番。議会も執行部と合わせて、江田島市が元気になろうという思いで頑張っています。
- Q 5 イノシシ対策ですが、畑だけでなく墓所をやられている。市内の若い方や消防職員・市職員が積極的に免許取得する指導があつてのいいのでは。
- A 5 このたびの大雨で全てが原因とは言えませんが、イノシシが掘り返し、石垣を崩して水の流れが変わり、それが呼び水となって畑がずれたというケースがあります。今、江田島市の捕獲報奨金は1頭当たり5千円です。呉市は1万円払っているようです。呉市の場合は、イノシシが減ってきたと聞いています。江田島市も5千円が適当か、値上げがいいかをしっかり検討してほしい。もう一つは、捕獲したイノシシの処理問題。中山間地では加工品製品を作っており、くん製にすると日持ちする。議会でこの問題に取り組んでいきたい。
- Q 6 テレビで見たが、熊本地震で町役場の建物が使えなくなり、紙で保管してある大事な書類があつた。危険だったのでロボットを使って書類を取りに入った。江田島市にそういう事があつた場合、絶対ないとは限らない。熊本の例を参考にするのも必要では。
- A 6 広島県が顧問として、江田島市と廿日市市、熊野町、安芸大田町、北広島町の5市町共同でデータ管理するサービスを利用しています。江田島市は29業務でこのシステムを利用し、災害時の業務継続はクラウドサービスを利用します。

江田島市はすべての地域で光回線が使える、大事な情報を別のサーバーに保管しています。どこまでかは市役所に確認をとってご案内します。

Q 7 平成28年度までには江田島市内の保育施設、小・中学校の耐震化を終わらせたいと聞いている。今年度、三高小学校の屋内運動場について報告があり、ありがとうございます。沖美地区では三高中学校も耐震化をお願いしていますが、全体的には遅い方ですが、当初は平成28年度中には進めていきたいと聞いている。建設課もしくは教育委員会なのか分かりませんが、耐震化の方向性について議会が行政側と話を進めているのか。

A 7 保育所と認定子ども園「おおがき」・「こよう」・「のうみ」ですが、「おおがき」は平成29年度4月から開園する予定です。江田島は江田島小学校跡地を買収して認定子ども園「えたじま」を開園する予定です。「のうみ」も設計段階で平成30年度に開園する。合併特例債を使って平成31年度までに保・小・中の全部を耐震化する計画です。

(補足説明) 市内の小中学校は、基本的には平成28年度まででしたが、学校統合の状況を見ながら進めいくということで、平成31年度までに終了する予定です。保育施設は、平成27年3月に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき平成31年度までの5か年で施設整備を完了する予定。

Q 8 小中学校の耐震化が終わるのが平成31年度、つまり平成28年度に終わると言っていたのが3年間延びたという事です。3年間に地震がなければいいが、子ども達の命を真剣に考えているのか。三高中が遅れるのは能美中と一緒になるからと言われるが、現在、単独でやっています。今のところ、三高中が能美中と一緒になるというような話ですが、三高地域ではそのような話になっていません。地域住民、また保、小、中等のPTA責任者含めて、学校統合については3年前から完全に否定して対応している。議長、市長、それから教育長にも何回もそういう話をさせて貰っています。しかし、時々、統合があるから伸びていると言っているのを耳にして、「何を言っとるんじやい」、「地域の、江田島市の住民としてあなたら分かっているのか」と、三高ではそんなことありえない。絶対賛成しないと。自治会長にしたって、PTA会長にしたって絶対判を押さない。これらの了解がないと統合(廃校)はできないはずです。それまで3年間ずっと耐震化せずに、子ども達に我々はどのように答えたらいいのか。PTAからも「どうなっとるんですか」と言われます。これは三高だけではなくて、よその学校もあるんです。議会からも地域の意見として行政側にしっかり言っていただいて、少しでも早めの対応をできるようにお願いしたい。

A 8 ご意見をしっかりと執行部に伝えてまいります。

#### 4 まとめ（所見）

今年で3年目となった議会報告会はこれまでのアンケート調査等に基づいて、初めて平日のお昼に設定したが、参加人数は昨年に比べて2会場とも減少しました。

（江田島：25→16、沖美14→11）

平日のお昼という設定に問題があるのか、もしくは、沖美町地区の場合は人口密集地の中間という場所に原因があるのか、各地域で自治会・女性会・老人クラブ等と意見交換する必要があります。

昨年は説明資料の工夫を指摘されたが、このたびは分量・内容等については適切であったと思われます。

住民から頂いた意見・要望は、所管の委員会で調査研究し、提言書に取りまとめて行政に提出することが望まれます。議会は市民に行政チェックを付託された住民代表である議員で構成される議決機関であり、このことを市民および議会ともに共通認識を持つことが大切であり、市民との意見交換の場が議会報告会です。今後も市民の声が市政に反映できるよう効果的な報告会となるよう努めることを確認しました。